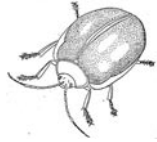


たんぽう



妙見山 (大阪府能勢町) でミカドアゲハを目撃

梅田 博久

筆者は、大阪府能勢町の妙見山でミカドアゲハ *Graphium doson* を目撃したので報告する。

本種は、熱帯性の蝶で、近年分布を北に拡大し、岡山県などでも発生が確認されている。2008年に兵庫県たつの市で成虫が確認されているが、その後の情報は無い。

筆者は、2014年5月4日正午ごろ、妙見山リフト乗り場にある花壇に本種が飛来しているのを目撃した。採集には至らなかったが、前翅の帯の色がアオスジアゲハのように青色ではなく、黄色みのある白色で、帯の前後に斑点列があり、本種と判断できる特徴が確認できた。周辺に食草であるオガタマノキがあるか否かは不明であるが、目撃時期から周辺で羽化した個体であると推測される。

未筆ながら、本報告を勧めていただき、本種の記録についてご教示いただいた、こどもとむしの会の近藤伸一氏、久保弘幸氏に厚くお礼を申し上げます。

○参考文献

日本チョウ類保全協会 編, 2012. フィールドガイド日本のチョウ. 誠文堂新光社

(Hirohisa UMEMEDA 大阪府豊中市)

キバネツノトンボ (*Ascalaphus ramburi* MacLachlan) 生息地の記録

東 輝弥

キバネツノトンボは兵庫県版レッドデータの中で1997年版ではCランクだったのが2003年版ではAランクに格上げされて指定されている。

レッドデータブック1997では生息地は東播磨と西播磨、2012年版では加西市と姫路市が書かれている。この内の姫路の生息地は筆者が発見した場所と思われる。今までに正式に発表してなかったのが不明であるが、このたび新しい生息地を発見したので併せて報告する。発表にあたり相坂耕作氏に確認して頂いて本種であることを確認した。

生息地

1. 姫路市飾東町小原新

2007年4月26日に発見し、翌27日に写真を撮影した(図1)。現在、この生息地のキバネツノトンボは絶滅した可能性が高い。生息環境はため池の堰堤で上部の草は刈られていたが斜面に萱とかススキが生えていた。2009年に斜面がきれいに刈られるようになって本種が減少した。2010年には2頭しか確認できず、翌2011年にはまったく確認できなかった。以後毎年観察に行くが確認できていない。

2. 赤穂郡上郡町

この生息地は2012年5月12日に発見し(図2)、2014年も確認をした(図3)。ここの生息環境はやはり草地で周りに林がある。草地は年に1回秋の終わりか冬に刈られる状態である。生息数は多くないので♂♀あわせて10頭程度確認できるのみ。

3. 赤穂市有年

この生息地は2.の生息地から3kmほど離れた場所です。2014年5月4日に発見した(図4)。ここもやはり草地でまわりに林がある。この地には5年ほど通っているが本年に初めて確認した。

いずれの生息地でも採集は行わず、写真撮影のみの記録である。また、これらの生息地は面積が小さく個体数が多くないので詳しい地名は省略してある。